

八代校区住民自治協議会

概念
(スローガン)

地域に密着した**活力**あるまち 八代校区

当協議会にて取り組む主な事業をご紹介します

◎八代校区を歩こう会

校区住民の親睦と健康づくりを目的に開催。子どもからお年寄りまで幅広い世代が参加し、初夏の八代路を歩いて、みんな一緒に気持ちの良い汗をかきます。

子ども達にとっては普段見慣れない道や風景を見ることにより、自分達が住む八代校区の街並みを知ることができます。ウォーキングの後は、校区婦人会特製のカレーを食べて英気を養い、校区住民同士が和気あいあいとなります。



初夏の風にあたりながらのウォーキング

◎広げよう！あいさつの輪運動

あいさつの輪を八代校区に広げて、安心・安全な笑顔あふれる校区づくりにつなげることを目的に行う運動です。夏休みに校区内6校園の子ども達から「あいさつの輪ポスター」を募集し、集まった作品を当協議会で審査。10月下旬に開催する校区ふれあい祭りにて、当協議会より優秀作品を描いた子ども達を表彰します。そして、優秀作品ポスターは校区内の掲示板等に掲示され、この運動を啓発します。



300を超える応募数から優秀作品を厳選

◎八代校区ふれあいまつり

校区住民が文化活動や社会活動等の成果を発表する場を設けることにより、世代間交流や地域のコミュニティーを育て、八代校区住民の一体感を醸成することを目的に、毎年10月下旬に八代小学校にて開催します。保育園児から大人までが音楽や踊り等を披露するステージ部門、文化作品展示やコレクション自慢、食バザーや屋台販売、健康コーナー、消防団PR等々を設け、まさに校区が一体となった賑やかなお祭りとなります。



小学生の司会進行が好評でした

◎どんどや

八代校区においても、無病息災・五穀豊穡を祈る小正月の行事どんどやを実施。次世代への伝統行事の継承、地域の絆を深めることを目的として行います。青少年部会が中心となり、開催前日に竹切りや櫓の組立てを行い、当日は校区住民が集まって、どんどやの火を囲みます。火が落ち着いたら、餅などを焼いて食べて1年の無事を祈り、婦人会や八代小PTAの保護者から振る舞われるぜんざいも食べては、会場全体が笑顔であふれます。



みんなそろって、どんどやの火を囲みます

◎その他さまざまな校区活動

その他にも敬老会や校区民体育祭、老人クラブ演芸大会、健康づくり教室、校区防災マップ作り、八代警察署との意見交換会、福祉観桜会等々、さまざまな活動に取り組んでいます。



老人クラブ演芸大会は、老人クラブの融和と会員拡大を目的に、老人クラブ主催で平成30年度より実施。歌、踊り、手品、バナナの叩き売り等、たくさんのまちの芸人さん(?)が会場を沸かせます。



八代校区敬老会は、八代コミセンにて開催。主催者と来賓よりお祝いのあいさつを行った後、八代小の子ども達からの作文朗読がなされ、和やかな雰囲気敬老会となります。



地域安全部会の活動として、校区独自の防災マップ作りに取り組んでいます。町内会長達が2班に分かれて、校区各町内の危険箇所等を確認し、地図上にチェックをしています。



スポーツ行事も充実。校区民体育祭をはじめ、ミニバレー大会、卓球大会、ニュースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会を実施しています。校区住民こそって、健やかな汗を流しています。



健康づくり教室では、健康にまつわる講演を行ったり、料理教室等を行ったりしています。また、福祉推進協議会では桜の開花時期に合わせ「福祉観桜会」を実施しています。